

国内の養鶏場で鳥インフルエンザが続発しています



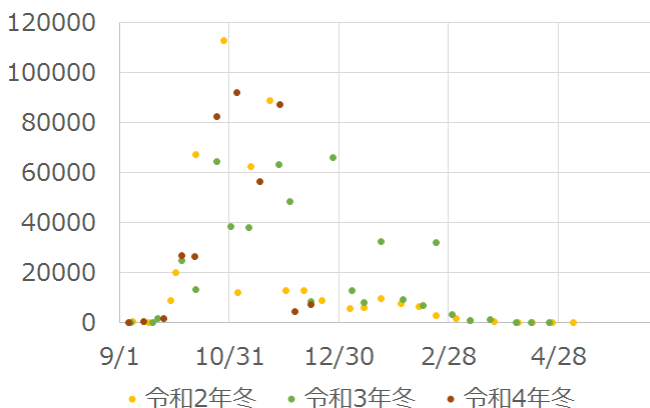
防疫作業の基本を皆でチェックしよう <https://jaccnet.zennoh.or.jp/action/>

国内では昨年の10月末から58か所で発生しています
採卵鶏は982万羽、肉用鶏は93万羽の殺処分となっています(1/12)

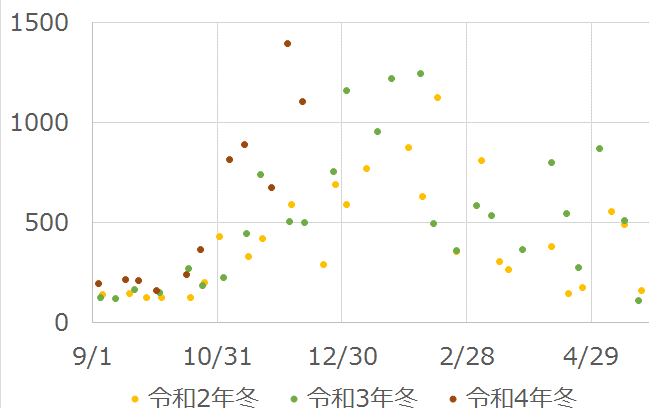
野鳥は9月末からすでに150例が検出され、検査中が5例となっています
カモ、ハクチョウ類のほか、ワシやタカ、カラスでも昨年同様続発しています

今季の野鳥の飛来数は、今のところ通常通りか少なめになっています
AIに感染している野鳥の割合が高いのではないかと考えられます
自然の野山に広くウイルスが広がっていると考えられます

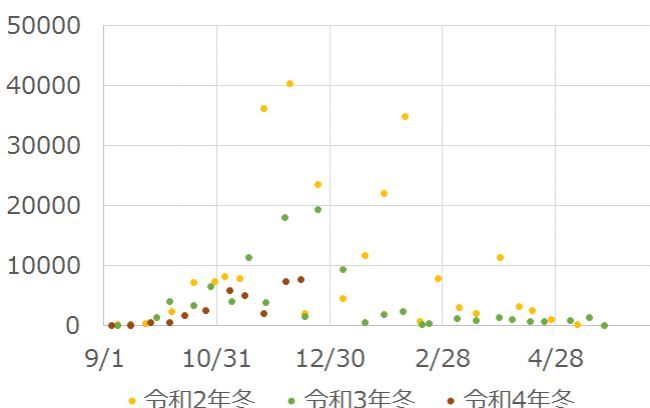
伊豆沼（宮城）にいた野鳥の数



谷津（千葉）にいた野鳥の数



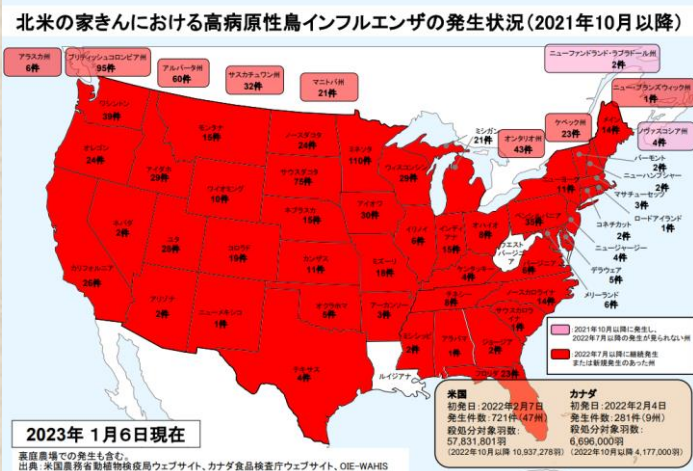
宍道湖（島根）にいた野鳥の数



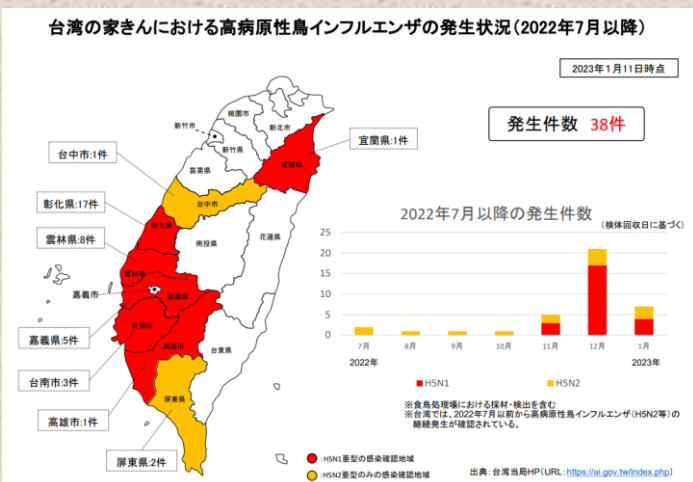
野鳥の数(例:東北・関東・西日本)
西日本の野鳥は最近では減少傾向です
千葉は野鳥が増えています
宮城は野鳥が減る傾向にあります
これから野鳥が北上する時期です
今年は野鳥が少なくてもAIが多い
しかし農場周辺の野鳥の飛来状況を
環境省のWEBページで確認しましょう
https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/migratory/ap_wr_transit/

雪国では湖が凍ると野鳥が暖かい海沿いに逃げてウイルスを広げます
昨年の冬はそのような場所の養鶏場でのAI発生と思われる事例がありました
環境省のデータは大きな湖にいる野鳥のデータで、1か月ほど遅れて出ます
農場周辺の野鳥の様子をみながら、防疫作業を徹底しましょう

ヨーロッパは西部を中心に、ロシア方面からの渡り鳥によって発生が続いています
アメリカは5800万羽、カナダは697万羽で過去最多の殺処分になっています
中米、南米でも発生が増えています



韓国では10月から家きんのAIが62例続発し、397万羽が殺処分されています
台湾でもH5N1亜型の発生が12月から続いており、南日本でも注意が必要です



今年は世界中でAIが流行しており、日本での流行もその一部です
渡り鳥が多くのウイルスを運び、国内の野生動物がそれを広めています
ひとりひとりが動画で防疫を学びましょう
<https://jaccnet.zennoh.or.jp/disease/ai/>

病原体を入れない、広げない、増やさない

病原体を入れない

1. 人、車両は立ち入りを規制する
2. 農場内に入れる時は必ず消毒する
3. 農場の入場記録をとる
4. 立ち入り禁止の看板を設置する
5. 畜舎の周囲に防鳥ネットを張る
6. 飲水は飲用に適したものにする
川水などを使う場合は必ず消毒する

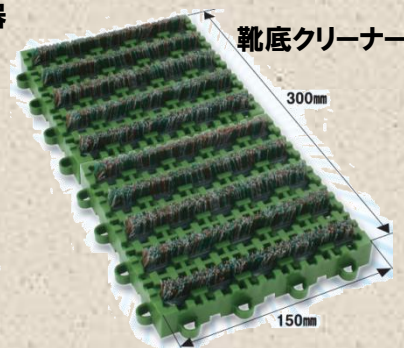
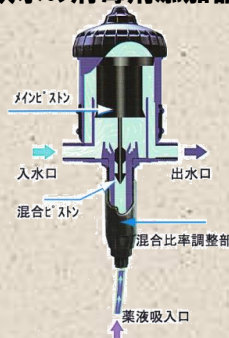
病原体を増やさない

1. 過密をさけ、適切な密度で飼育する
2. 暑すぎ、寒すぎ、換気不足、すきま風
これらを避けた良い環境で飼育する
3. 畜舎を定期的に掃除する

病原体を広げない

1. 畜舎毎に専用の長靴を設置・使用
2. 畜舎毎に踏込消毒槽を設置・使用
3. 毎日、鶏の健康観察と記録をおこなう
4. 畜舎が空になったら必ず清掃・消毒
5. ネズミやハエを定期的に駆除する

飲水の消毒剤添加器



農林水産省 緊急提言(令和4年11月28日) より

鶏舎に出入りする従業員などは、消毒と長靴交換を徹底する

→ 踏込消毒槽に入って鶏舎に入るより、清潔な中用長靴に履き替えるべき
農場敷地内や鶏舎周辺の消毒を毎日行う

→ 人が歩く場所、換気口のまわり、時々鶏舎の床だけでなく屋根や壁も
ネコやイタチなどの小動物や野鳥などが農場内に近づかないようにする
侵入しそうなルートを探して侵入防止の対策をとる

→ ネコやイタチは哺乳類ですが鳥インフルエンザウイルスを運びます

鶏舎では専用衣服を着て、鶏舎ごとに専用長靴を置いて履き替え、手を消毒する

→ 外に出た衣服や靴は、消毒して鶏舎に入るのではなく、交換して鶏舎に入る
衣服や靴を使ったら、毎日きれいに洗って使うことが望ましい

鶏舎などの消毒をするときは長靴などの汚れを落としてから行う

→ 目に見えない汚れの運び屋にならないように意識しましょう

踏込消毒などの消毒薬は最低でも1日1回の交換を行う

→ 汚れた消毒液や、日がたった石灰は効果が落ちるので注意しましょう

長靴を履き替えていても、外用と中用がまじわらないように動線を考える

→ ついつい中用の長靴で外に出たりしがちなので、間違えた靴は消毒する

鳥インフルエンザウイルスに効く消毒剤

種 類	商 品 名	希 釈 倍 数	種 類	商 品 名	希 釈 倍 数
塩素剤	ビルコンS クレンテ スミクロール	500倍～2000倍	逆性石けん 冬は石灰等で アルカリ性に するとよい	ロンテクト	500倍～2000倍
		300倍～3000倍		バコマ	500倍～2000倍
		100倍～1000倍		クリアキル100	500倍～2000倍
ヨウ素剤	クリンナップA ファインホール バイオシッド30 ポリアップ16	200倍～800倍		アストップ	500倍～2000倍
		200倍～800倍	オルソ剤	オーチストン ゼクトン タナベゾール	100倍～300倍
		500倍～1000倍			100倍～300倍
		2000倍～5000倍			100倍～200倍
アルデヒド	グルタクリン エクスカット	200倍～1000倍	消毒剤以外にも、過酢酸系除菌剤(ビネパワー)の 600倍希釈液を踏込消毒槽に使うことも推奨します		
		200倍～1000倍			

希釈倍率	以下の量の消毒液を作るのに必要な原液			以下の量の原液で作れる消毒液の量		
	18リットル	100リットル	500リットル	100cc	250cc	500cc
100倍	180cc	1リットル	5リットル	10リットル	25リットル	50リットル
300倍	60cc	333cc	1.7リットル	30リットル	75リットル	150リットル
500倍	36cc	200cc	1リットル	50リットル	125リットル	250リットル
1000倍	18cc	100cc	500cc	100リットル	250リットル	500リットル
3000倍	6cc	33cc	166cc	300リットル	750リットル	1500リットル
5000倍	4cc	20cc	100cc	500リットル	1250リットル	2500リットル

消毒剤の消毒効果を高める資材(科学飼料研究所 取り扱い)

問合せ先電話： 027-347-3223



石灰の効果を確かめる薬「リトアクア」
石灰は古くなると効果がなくなります
液を1滴→すぐ青くなったら効果OK



まいた石灰が効いているか
チェックしましょう

逆性石けん消毒液に加えて溶かして使う「フィーネナチュラルパウダー（水酸化カルシウム）」
逆性石けんは寒いと効果が落ちるので
液をアルカリ性にして効果を高めます



噴霧消毒液に



畜舎消毒に